

マテリアリティとESG目標

2021年度の振り返り

第20次中期経営計画で定めた各ESG目標は、2022年度目標に向けて概ね順調に進捗しています。「生活の質の向上」に係るESG目標「生活基盤向上貢献人数」、「脱炭素社会の実現」に係る「GHGスコープ1,2削減率」「GHGスコープ3削減率」については、2022年度目標を上回る実績となっています。「ステークホルダーエンゲージメント」に係るESG目標については、2020年度に引き続きDJSI World IndexおよびCDP Aリストに採用されました。また、「ダイバーシティ&インクルージョン」に係る「社員エンゲージメントスコア」は、日本では2022年度目標を上回る結果となりました。

2022年度の展望

「ステークホルダーエンゲージメント」に係る「デジタルトランスフォーメーション(DX)銘柄採用」については、2022年6月にDX銘柄に採用され、2022年度目標を達成しました。その他の各ESG目標についても、達成に向け計画通りに施策を推進しています。また、「脱炭素社会の実現」に係る「GHGスコープ1,2削減率」については、品不足解消・経済活動活性化などに伴い、GHG排出量が前年比増となる可能性はありますが、これまでの省エネ活動・再エネ導入などの強化を図ることで、2022年度目標は達成する見通しです。

7つのマテリアリティに対するリコーグループの取り組みとESG目標

事業を通じた社会課題解決					
マテリアリティ	2030年目標	社会課題解決と事業戦略	ESG目標		2021年度実績
			評価指標	2022年度目標(中計目標)	
<div>“はたらく”の変革</div> <div>8 持続可能な成長を実現する</div> <div>9 社会課題の解決に貢献する</div>	価値を提供するすべての顧客の“はたらく”の変革に貢献	<div>社会課題</div> 持続的な発展のために、企業では、働き方変革やIT化による生産性向上、社員のはたらきがいの向上が課題となっています。 <div>事業戦略</div> デジタル技術・サービスの提供で、お客様の“はたらく”の変革を実現します。	顧客調査でのトップスコア率 ^{*1}	30%以上	日本:33% 欧州:28% APAC:36% 米州:82%
			顧客への提供価値拡充度 ^{*2}	15% ^{*3}	13%
			DXによる価値提供スキル保有人材	IPA ITSS L3 ^{*4} 1.5倍	1.28倍
<div>生活の質の向上</div> <div>3 持続可能な生活環境を創出する</div> <div>4 社会課題の解決に貢献する</div> <div>11 持続可能な社会を実現する</div>	3,000万人の生活基盤の向上に貢献	<div>社会課題</div> 先進国と途上国、都市と地方では、医療・教育・地域サービスの格差の解消が必要となっています。 <div>事業戦略</div> オフィスソリューションで培ってきたデジタル技術とノウハウを活かして、医療・教育・地域サービスの質の向上を支援します。	生活基盤向上貢献人数	1,000万人	1,082万人
<div>脱炭素社会の実現</div> <div>7 持続可能なエネルギーを創出する</div> <div>13 持続可能な社会を実現する</div>	GHGスコープ1,2の63%削減およびスコープ3の40%削減 使用電力の再生可能エネルギー比率50%	<div>社会課題</div> 気候変動の影響が顕著になっており、対策の強化とスピードアップが課題です。 <div>事業戦略</div> 「SBT ^{*5} 1.5℃」目標を掲げ、自社排出のGHGの大幅削減を進め、社会全体の脱炭素に貢献する商品・ソリューションを提供します。	GHGスコープ1,2削減率(2015年比)	30%	42.6%
			GHGスコープ3削減率(2015年比)	20%	28.5%
			使用電力の再生可能エネルギー比率	30%	25.8%
<div>循環型社会の実現</div> <div>12 持続可能な社会を実現する</div>	バリューチェーン全体の資源有効活用と新規資源使用率60%以下	<div>社会課題</div> 天然資源の持続的な利用を可能にするために、資源の循環利用や新規投入資源の削減の強化が課題です。 <div>事業戦略</div> 3R・プラスチック削減／代替をさらに強化し、プリント・オンデマンドの提供により、お客様の資源の効率利用に貢献します。	製品の新規資源使用率	85%以下	88.5%

経営基盤の強化					
マテリアリティ	社会からの要請と経営戦略	ESG目標		2021 年度実績	取り組み・トピックス
		評価指標	2022年度目標 (中計目標)		
<div>ステークホルダー エンゲージメント</div> <div><div>16</div><div>持続可能な成長を実現する</div></div> <div><div>17</div><div>社会課題の解決に貢献する</div></div>	<div>社会からの要請</div> <div>社会の持続可能な発展のために、企業にはグローバルバリューチェーン全体のサステナビリティの強化が求められています。</div> <div>経営戦略</div> <div>リコーグループは、ビジネスパートナーとの協働を強化、自社・ビジネスパートナー・社会とWin-Win-Winの関係を構築します。</div>	生産拠点のRBA ^{*6} 認証取得	主要生産6拠点完了	累計3拠点完了	2022年度認証取得予定の拠点に対して、体制づくり・説明会・計画策定・内部監査などを実施し、中計計画通り進んでいます。
		サプライヤーの行動規範署名率	重要サプライヤーの署名完了	86%完了	購買統括組織を新設し、各ビジネスユニットの重要サプライヤーに対して、行動規範への署名を推進しています。
		国際的セキュリティ標準	ISO／IEC ^{*7} 、NIST ^{*8} に基づくセキュリティ強化完了	非開示	
		各パートナーからの評価スコア ^{*9} (サプライヤー、販売代理店、開発パートナー)	非開示		
		主要ESG評価のトップ評価獲得	DJSI、CDP ^{*10} など	DJSI: World採用 CDP: Aリスト採用	DJSI World Indexに2年連続採用されました。セクタートップスコアを獲得し、S&Pグローバル社の世界的サステナビリティ格付けにて最高位の「ゴールド」クラスを受賞しました。
		経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄」採用	DX銘柄採用	採用なし	CEO以下経営層が参加する「デジタル戦略会議」を隔月で実施し、DXに特化した経営課題への対応を議論しています。また、各ビジネスユニットのDX責任者と戦略・施策を隔週で協議し、推進しています。
			特許のETR ^{*11} (他社引用)スコア増加率(2020年度比)	20%増	7%増
<div>共創イノベーション</div> <div><div>9</div><div>持続可能な成長を実現する</div></div> <div><div>17</div><div>社会課題の解決に貢献する</div></div>	<div>社会からの要請</div> <div>持続可能な発展のために、さまざまな産業セクターでイノベーション促進が求められています。</div> <div>経営戦略</div> <div>大学・研究機関、他企業など、パートナーとの共創を重視、社会課題解決に向けた効率的な研究・技術開発、新たな価値創出のための連携を進めます。</div>				
<div>ダイバーシティ& インクルージョン</div> <div><div>5</div><div>持続可能な成長を実現する</div></div> <div><div>8</div><div>持続可能な社会を実現する</div></div> <div><div>10</div><div>持続可能な社会を実現する</div></div>	<div>社会からの要請</div> <div>持続的な発展やイノベーションのために、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現、多様性の尊重が必要になっています。</div> <div>経営戦略</div> <div>「自律型人材の活躍」を経営方針に掲げ社員の多様性を尊重、イキイキと働けるような環境を整えていきます。</div>	RFG ^{*12} エンゲージメントスコア	各地域50パーセンタイル以上	日本: 51パーセンタイル 米州: 42パーセンタイル 欧州: 29パーセンタイル APAC: 33パーセンタイル	国内全グループ会社で管理職対象のオンライン講座を実施し、世界各地の事業所では、従業員のエンゲージメントを高めるためのトレーニングやアクションを展開しています。 (注) 地域ごとに比較対象データが異なり、各地域の実績を単純比較する指標ではありません。
		女性管理職比率	グローバル16.5%以上 (国内7.0%以上)	グローバル: 15.6% (国内: 6.3%)	2021年10月にグローバルD&Iポリシーの制定とそれに合わせたトップメッセージの発信を行いました。また、女性や若手社員のタレントマネジメントの強化を行っています。

*1 トップスコア率:最も高い評価の選択率

*2 国内スクラムパッケージの顧客比率

*3 ICT商材不足の影響により、20%から目標を修正

*4 IPA:独立行政法人情報処理推進機構。ITSS:IPAが定めるITスキル標準。レベル0～レベル6の7段階

*5 SBT:Science Based Targets

*6 RBA:Responsible Business Alliance

*7 ISO/IEC:International Organization for Standardization/International Electrotechnical Commission

*8 NIST:National Institute of Standards and Technology

*9 評価スコア:リコーに対する各パートナーからの評価結果

*10 CDP:気候変動など環境分野に取り組む国際NGOによる評価

*11 ETR:External Technology Relevance。他社に引用された特許の多さを示すスコア

*12 RFG:Ricoh Family Group